

PRESS RELEASE

令和3年5月14日（金）
三重県教育委員会
三重県信用農業協同組合連合会

補助教材“農業とわたしたちの暮らし”を 県内全ての小学校等へ寄贈 ～子どもたちの食・環境と農業への理解深化を期待～

JAバンク三重（三重県下7JAおよびJA三重信連）は、子どもたちが食・環境および農業への理解を深めることを支援するため、平成20年度から、JAバンク補助教材“農業とわたしたちの暮らし”を県内の小学校等に寄贈してまいりました。

令和3年度につきましても、三重県教育委員会の協力のもと、県内全ての小学校および希望のあった特別支援学校に補助教材“農業とわたしたちの暮らし”を寄贈いたします。

1. 寄贈先等

■寄贈先

県内全ての小学校、希望のあった特別支援学校（計358校）

■寄贈冊数

児童用 計：17,353冊

教師用 計：1,049冊

DVD教材 計：358枚（各校1枚）

■寄贈予定日

令和3年5月17日（月）

2. 補助教材の概要

■対象者

小学校5年生

■内容

「農業とわたしたちの暮らし」は、「食」と「農業」または「環境」と「農業」とのかかわりや、流通や産地等について学ぶことで農業に対する理解を多面的に広げることを狙いとし、子どもたちが関心をもって自ら考え・話し合い・まとめられるよう構成しております。

また、三重県教育ビジョンに掲げる“子どもたちの豊かな未来を創っていく力の育成”の一助となるよう、社会科を中心に総合的な学習、家庭科等の授業で活用される予定です。



<お問い合わせ先>

●三重県教育委員会 小中学校教育課 小中学校教育班

Tel:059-224-2963(担当:近藤)

●三重県信用農業協同組合連合会 農業金融部

Tel:059-229-9037(担当:堀)

J Aバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」のご紹介

これまで本教材を活用していただいた先生・児童からの声

①先生方からのアンケート結果

J Aバンクの補助教材に対して全国の先生方からアンケートをいただきました。そのなかからご意見の一部をご紹介します。

- 資料の内容も新しく、詳しいため、教科書の補助教材として社会の時間に活用できました。写真やグラフなどの資料が多く分かりやすかったです。
- 教科書以上の知識を得ることができ、より児童が学習内容に興味をもつことができました。
- JA でなければ伝えることのできない、農業の知識について分かりやすく教材ができていて良かったです。
- 子どもたちが農業に関心を持って良いと思います。食育の指導は今後も重要なので大変ありがたい取り組みです。
- 児童の学習の助けになるだけでなく教師が知らない新しい知識が得られることがありがたいです。
- コロナ禍で短時間で教材を進めていくのに利用しやすかったです。特に今年は田植えがなかったので写真が効果的でした。

②児童感想文の概要

J Aバンクの補助教材に対して全国の児童から感想文をいただきました。そのなかから感想の一部をご紹介します。

- お米づくりにはいろいろな人が関わっていると知りました。これからは、お米を残さずきれいに食べたいです。農業をしている近所の人を見かけたらできるだけ手伝いたいです。
- 米は作るのに180日くらいもかけていて大変なのにすごいと思いました。機械を運転するのも大変だと思いました。昔は、手作業でしていたのでものすごく時間がかかっていたけれど、今は、機械などが増え始め、米作りの時間が減っているんだなと思いました。農薬も使うことがあるけれど、あいがもなどを田に放し、害虫を食べてくれるので楽になるのかなと思いました。田植えをする時、機械が植える速さがとてもはやくてびっくりしました。米作りをするには、いろいろな工夫をしなければならんだと思いました。
- 日本の農業は、65才以上の人が多く、高齢化が進んでいて、自給率も少ないという現実におどろきました。「これからの農業」で、スマート農業をしていることから、農業はどう変化していくのか期待が高まりました。米もつくるのに何日もかかるので、一つぶ一つぶ大切に食べていきたいと思いました。
- 酪農家の人たちは、掃除や乳しぼりだけでなくたい肥づくりやえさづくりまでしているなんてとてもおどろきました。でもそんな重労働をしている人は若い人が少ないそうです。私も大人になったら、農家だけでなく酪農家の手伝いにもチャレンジしたいです。
- とてもわかりやすく、簡単にいろいろなことがわかりました。お米や、野菜の生産額が多い県を楽しく色ぬりをしながら覚えることができました。これからも、お米や野菜をたくさん食べて農家さんをサポートしていきたいと思います。

以 上